

令和3年度第1回京都市環境審議会 会議録

日 時 令和3年8月2日（月） 午後3時30分～午後4時40分
場 所 オンライン会議（事務局：京都市役所分庁舎 第4会議室）
出席者 大久保委員，大島委員，尾崎昭成委員，尾崎るみ子委員，小幡委員，鴻上委員，
桜井委員，塩路委員，島田委員，高溝委員，田中委員，千葉委員，内藤委員，
西岡委員，仁連委員，久山委員，本田委員，益田委員，松尾委員，森口委員，
森本委員，湯本委員，渡部委員 （五十音順）

1 開会

環境政策局長から挨拶

2 議題

（1）会長の互選及び会長職務代理者の指名

- ・ 環境審議会会長は，委員の互選により，仁連委員に決定した。
- ・ 会長職務代理者は，仁連会長の指名により，小幡委員に決定した。

（2）部会の構成員及び部会長の指名

- ・ 部会の構成員は，事務局から示された案（資料4）のとおり，仁連会長の指名により決定した。
- ・ 仁連会長の指名により，環境基本計画評価検討部会の部会長は小幡委員，地球温暖化対策推進委員会の委員長は仁連会長が兼任，生物多様性保全検討部会の部会長は湯本委員，京都環境賞選考部会の部会長は島田委員，環境保全基準部会の部会長は大久保委員に決定した。

（3）各部会の審議予定

- ・ 各部会の審議予定について，資料5～資料9に基づき，事務局から説明した。

（4）意見交換

仁連会長 各部会の審議予定に関することも含め，委員の皆様から御意見をいただきたい。

小幡部会長 環境基本計画評価検討部会においては，「京都市環境基本計画」に設定した客観的指標と主観的指標の2つの側面から，計画の進捗評価を行っている。環境基本計画の年次報告書である環境レポートについては，より多くの市民に知っていただきたいため，配布先や活用方法を検討したい。環境基本計画は，個別計画と関連しているため，連携を取りながら進捗評価

を進めていきたい。

湯本部会長

生物多様性保全は、あらゆる場面で誰もが留意すべきことが多くあり、意識・関心の高い一部の人や行政の取組だけでは進むものではなく、あらゆる主体が行動することが重要である。本年3月に策定したプランの下、各種施策を順次展開していくが、それらが着実に推進されるよう一体的に取り組んでいきたい。特に、パイロット事業である推進プロジェクトの選定、主観的・客観的指標の設定については、議論が円滑かつ活発に進むよう尽力していきたい。

島田部会長

京都環境賞選考部会では、現在、例年どおり、活動を募集している。選考の際は、ユニークで発展性があり、更に、将来の世代にもつながっていくような活動を表彰したい。本部会では、これまでの個々の環境保全活動の表彰に加えて、電源構成やプラスチックそのものの在り方、それに付随するボトルネックなども注視し、そのような隘路に直面している団体があれば、その団体の問題意識を取り上げて紹介していきたい。

大久保会長

環境保全基準部会は、市民の健康と生活環境を守るという、環境行政の根幹を担当している。国の状況や地域における新たな知見の蓄積の状況を踏まえ、必要に応じて部会を開催するなどして、市民の健康の確保と生活環境の保全に努めていきたい。

仁連会長

地球温暖化対策推進委員会では、昨年度に、地球温暖化対策条例の改正、新たな地球温暖化対策計画を策定した。今後は、一部の関心が高い層だけでなく、あらゆる主体が、脱炭素社会の実現に向けたアクションが起こせるような体制づくりに努めていきたい。

塩路委員

昨今、カーボンニュートラルの動きが活発化している。省エネについて、国の委員会の議論を紹介させていただく。省エネ法においては、非化石エネルギーの導入拡大にも取り組むこととしている。また、電気換算係数について、これまでの全火力平均係数から全電源平均係数にするか議論しており、省エネの評価が大きく変わりつつある。「再エネの飛躍的拡大」においては、調整力をどう確保するかも一体として議論することが重要であり、そのためには、関連する様々なステークホルダーとの連携が必要と考える。国において議論されているカーボンプライシング、LCA、グリーンチャレンジ、水素エネルギーの導入拡大などの動向に注視しつつ、取組を進めていただきたい。

森本委員

地球温暖化対策及び生物多様性保全の計画策定に関わり、立派な計画ができたと思っている。これを進めるには、普及啓発を図り、様々なステークホルダーの合意が必要である。京都市都市緑化協会が発行している季刊誌「京のみどり」秋号で、新しく策定した生物多様性プランの紹介をメイ

ンに、地球温暖化対策にも言及した内容を予定している。普及啓発に役立てていただければと考えている。

島田部会長
仁連会長

ESG 投資など、金融関係の役割を議論する場はどこになるのか。
地球温暖化対策計画の施策に掲げているので、地球温暖化対策推進委員会での議論となってくる。

3 閉会